

平成 28 年度 金沢医科大学医学部入学試験問題  
一般入学試験（小論文）2 日目

答えは解答用紙に記入しなさい。

【問題】課題文を読み、300 字以内で要約しなさい。

医学の進歩は、日本人の健康の向上と平均寿命の延長に大きく寄与してきた。病気になった場合の安心感や受ける苦痛の程度も、50 年前とは比較にならない。このような医学の進歩の結果、医学への信頼が増し、医療関係者がますます感謝されるようになっていくと、通常の場合には予想できる。しかし、医療の場合には不思議なことに、ますます医療は信頼を喪失し、医療関係者は時とともに、感謝されずむしろ非難される対象にさえなってきた。これは果たしてどういうことであろうか。

医療は本来、安全であることが非常に重要だ。しかし、一方で病気によって健康が著しく障害されている時に、それを取り除く治療はリスクを伴うことも多い。また、医療の手順が複雑化して、数多くの治療のための処置を行う必要があると、そこにはヒューマンエラーの危険性が潜んでいる。単純な繰り返し作業の中にも、重大な間違いの可能性はある。医療関係者は医療の安全に気をつけるように教育を受けるものの、それでも重大な事故が起きる。そのために、医療界は厳しい批判を受けることになった。とくに、1999 年に横浜で起きた患者取り違え事故によって、医療への信頼は厳しい試練にさらされることになった。新聞やテレビに、医療の安全と信頼性を揺るがすような記事が連日のように報道され続けた。また 2006 年には、出産に伴って母親が死亡した事故をめぐって、医師が逮捕されるという事件が起きている。

医療に対する一連の厳しい批判は、社会からは当然のこととして受け止められてきた。一方で、医療関係者の方からは、これではリスクを伴う医療ができなくなる、という深刻な危惧が表明されるようになってきた。このようなことは、患者の方からの過剰な安全要求によるのだろうか、それとも医療の方で避けることのできるエラーが繰り返されているのが問題なのだろうか。治療成績の向上、平均寿命の延長などの成果を収めてきた日本の医療は、「世界の中の医療」という目で見て、大きく遅れているのだろうか。はたして、世界的に見て、問題が多いのだろうか。医療の質に大きく劣る点があるのだろうか。

日本という環境の中だけで見ていると、確かに医療は問題だらけのように見える。そこで、ひとたび世界の先進諸国の中での日本の医療という観点で見るという方向に転じる。そうすると、意外なことにその評価は高い。OECD ヘルスデータによると、わが国の平均寿命や周産期死亡率などのデータでは世界のトップレベルに位置している。この成果は、わが国の経済成長による生活レベルの向上が寄与している面も否定できないが、医療が貢献したことも間違いなだろう。2000 年に公表された WHO ヘルスレポートでは、健康の到達度と公平性、人権の尊重と利用者への配慮の到達度と受診の公平性、費用負担の公正さなどから評価した保健医療システムの総合目標達成度の評価において、わが国は加盟 191 か国中 1 位となっている。

公平に判断すると、わが国の医療の質はそれほど悪くはない。外科の治療成績のデータから見ると、わが国の治療成績はむしろ非常に良好だ。例えば、心臓移植はわが国では数多くは行われていないので、治療成績も充分ではないと思われるかもしれない。しかし、実際にはこれまでの成績では欧米の成績より圧倒的に良い。この他、多数の外科分野でわが国の成績が良いことが報告されている。このように、わが国の医療技術が欧米先進諸国に比肩できるレベルにあることは確実だ。日本の医師は、まじめに技術と知識の向上に取り組んでいる場合が多く、おおむね信頼を寄せるに足る存在だと言っても過言ではないだろう。

しかし、医療のシステム（医療を提供するための病院やマンパワー、その背後の医療制度の全体をここでシステムと呼ぶことにする）という観点から見ると、わが国の医療には問題が多い。医療の安全に関する問題は、医療のシステムが進歩した医療のレベルに対して遅れてしまったことに起因することが多い。なかでもマンパワー不足は深刻だ。例えば、一人で複数の患者を手術室まで送り届けなければならない看護師の実情や、一人で大量の出血に対処せざるをえない産科医の勤務実態が、大きな医療事故の背景にある。前者は、横浜の患者取り違え事件の背景にあり、後者は福島の出産に伴う母親の死亡の背景にあった。どちらも、先進国の病院としては非常に問題の多い医療システムの遅れがその基盤にあった。このような医療事故が発生した場合に、現場担当者の責任を追究することもさることながら、基盤にある問題を解決しなければ、同様の事故が繰り返し起きることになるだろう。医療においては、「誰が悪かったか」より、「何が悪かったか」の分析の方がはるかに重要だ。医療体制の脆弱な基盤が、現場で起きているさまざまな問題の背景にあることを、ここでは強調したい。